2026
vol.73

企業のワーク・ライフ・バランス推進を応援

WLB Hyogo

2・3 | WLB表彰企業Pick up 若者が活躍する職場
4・5 | EVENT REPORT
6・7 | Information
8 | 県政トピックス/WLB研修





公益財団法人兵庫県勤労福祉協会　ひょうご仕事と生活センター

2023年度表彰企業

アイベステクノ㈱

所在地	姫路市北原1133-1
事業内容	産業用電気機械器具製造
従業員数	336人（男性198人、女性138人）

会社になじみやすい環境とチャレンジし成長する機会を創出

産業用電気機械器具をオーダーメードで製造するアイベステクノ㈱。客先に合わせて配電・制御盤を設計するコンピューター支援設計（CAD）のオペレーターに女性を積極的に採用し、電気機械の知識がゼロの状態から一人前の技術者へと育てています。そうした中でも高い定着率を誇り、過去3年間、入社3年以内に辞めた社員はゼロ。高卒者に至っては6年間一人も辞めていないといいます。

その秘訣（ひけつ）は採用時の工夫と、成長や活躍を支える仕組みづくりです。入社時のミスマッチをなくすため、新卒採用の際は内定を出す前に必ずインターンシップで社内の雰囲気や仕事に触れてもらい、本人の不安を払拭。入社後3年間は先輩社員がきめこまやかに指導するなどしっかりフォローするとともに、適性や成長に合わせて人事異動で次のステップを用意しています。

また、「社員の子どもが入社したいと言ってくれる会社」を目指した結果、現在は8組の親子やきょうだいが在籍。「本人が満足していないと、身内に紹介



しようとは思ってもらえません。実際に家族が入ると『いいところを見せよう』と張り切るなど好影響があります」と、代表取締役社長の梅田晶久さん。社内の雰囲気づくりには運動会や花火大会、社員旅行など月1回開催している親睦イベントが一役買っており、部署や年齢の垣根を越えた交流は仕事上のコミュニケーションにも生きています。

さらに、今年からは7つのプロジェクトを始動。セキュリティー、AI、新規事業であるEPLAN、新工場建



設など会社を変革する上で重要なテーマについて、若手社員も含めた部署横断型のチームを結成し、具体化に向け検討を進めている段階です。「何かが決まっていくと『自分たちが決めたもの』として社員の士気が上がってきます」と、梅田さんも手応えを感じている様子。各プロジェクトでは活発な意見が飛び交い、社員の活力が経営にも好影響を与える循環が生まれています。





生産設計課CADグループ
若山夏生さん

大学研究室の先輩の紹介で会社を知り、インターンシップで担当してくれた先輩の人柄や社内の雰囲気に魅力を感じて入社を決めました。プロジェクトはもともと興味があったセキュリティーとEPLANに立候補し、掛け持ち中。勉強になり、楽しく活動しています。

（今号の表紙：写真上掲載）

2023年度表彰企業

不二電気工事㈱

所在地	尼崎市武庫之荘6-24-16
事業内容	電気設備・空調工事、省エネルギー化設計・工事
従業員数	25人（男性14人、女性11人）

入社研修は全社員で企画 "おせっかい"で若手を全力フォロー

電気設備工事などの施工管理を本業とする不二電気工事㈱が、新卒採用を始めたのは5年前。それまでは腕のある技術者を中途採用で獲得してきたものの、人材確保の難しさなどから、新入社員を一から育てる方針へとシフトし、以降は毎年採用を続けています。

最初に迎えたのが、近隣の高校を卒業したての18歳。「新卒採用をしたことがないから、『どう接したら』とみんな身構えていました」と振り返るのは、経営企画室の中西さんです。そこで、基礎研修後はさまざまな部署の社員の下で1週間ずつ学ぶ研修を実施。「社内全体の仕事の流れを理解するだけでなく、互いの人となりを知りコミュニケーションを深めるいい機会になりました」

採用人数を2人に増やした2年目からは、部署横断で5つのグループを編成し、新人教育に全社員が携わる形式に。「不二電気で働くなら・電気工事に携わるなら知っておいてほしいこと」をテーマに各グループが内容を考え日替わりで研修したところ、新入社員からも好評で、定番化しました。実際に研修を受けた当時の新入社員は、「皆さんの熱意が伝わってきて、『この会社は本気で受け入れてくれているんだ』とうれしかったです」と笑顔を見せます。以来、内定式や入社式には自由参加にもかかわらず全員が立ち会うなど、全社を挙げて新しい仲間を歓迎する風土が醸成されたといいます。



また、3カ月に及ぶ入社研修の集大成として、新入社員は全社員の前で自身の理想像を宣言します。



以降は半年に1度、仕事の成果や課題などを発表。「何を頑張って、どこに頭を悩ませたのかを知ることで、『自分たちの部署がフォローできるかもしれない』などと先輩社員も意識するようになります。積極的に若手に声をかける、いい意味での"おせっかい"が増えましたね」と中西さん。見守りと声かけが日常的に行われるアットホームな環境で、若手社員は伸び伸びと働き成長しています。





法人営業課
岡さん

3年前に入社した時、研修はとても丁寧に教わりました。普段も部署を問わず、優しく教えてくれる雰囲気があるのでとても働きやすいです。半年に1度、目標の進捗状況を全社員の前で発表をするのは大変ですが、仕事の目標などを自発的に考えるいい機会でもあるのかなと思っています。

（今号の表紙：写真下掲載）

大学の授業で企業の魅力を発信
「WLB認定企業出前講座」

大学コンソーシアムひょうご神戸のnote記事はこちらから

ひょうご仕事と生活センターでは、新規事業として、大学コンソーシアムひょうご神戸と連携し、大学の授業でWLB認定企業による出前講座を実施。大学生にワーク・ライフ・バランス（WLB）の取組が進んでいる県内企業の魅力を発信し、WLBの考え方について理解を深めてもらうとともに、県内就職の促進にもつなげることを目指しています。本年度は、県内5大学で開講しています。

大手前大学「キャリア形成と社会」

三宅麻未講師による経営学部の授業で、松谷化学工業㈱の担当者が「社員は家族」という創業以来の企業文化や社内大学など学びの環境について説明。続いて、（社福）三翠会の担当者が、「支える人を、みんなで支える法人」を目指してICT活用による業務改善や週休3日制の導入など具体的な取組を紹介しました。その後、「WLBを実現するために必要なこと」をテーマに、パネルディスカッションを実施。制度そのものだけでなく、それを生かす風土や企業の思い、そして自分自身の価値観とマッチしているかを見極める大切さを学びました。



受講した学生の声



社員を大切にしている考え方に共感した



制度そのものよりも企業文化や現場の声を大切にする姿勢に気付いた



仕事と私生活の両方を調和させて人生全体の幸福度と業務のパフォーマンスを最大化させることの大切さを学んだ

実施日	大学名/講座名		実施企業名
6月4日	流通科学大学「キャリア実践論」 テーマ 兵庫県のWLB企業(BtoB企業)を知ろう	参加学生：85人	アイベステクノ㈱／神鋼鋼線工業㈱ 三ツ星ベルト㈱
7月2日・9日	神戸松蔭大学「女性とキャリア形成」 テーマ WLB推進企業での働き方・WLBの働き方の課題	参加学生：82人	㈱阪技
7月8日	大手前大学「キャリア形成と社会」 テーマ 企業活動と環境問題・社会的責任・福利厚生	参加学生：112人	松谷化学工業㈱／（社福）三翠会
8月21日	関西国際大学「コーオプ・プログラム」 テーマ ワークライフバランス企業理解プログラム	参加学生：46人	エム・シーシー食品㈱
10月21日 11月18日 12月9日	神戸学院大学「キャリア共創プロジェクト」 テーマ キャリアオーナーシップ	参加学生：約20人	㈱籠谷／㈱神防社／白鶴酒造㈱

学生が改善ポイントを提案
兵庫県立大学との共同研究を実施

2026年3月、兵庫県立大学国際商経学部の加納ゼミ、高階ゼミとひょうご仕事と生活センターの共同研究報告会を各企業等で実施しました。この共同研究は12年度にスタート。企業・団体へのヒアリングを基に、ワーク・ライフ・バランス（WLB）に関する研究テーマを設定し学生の新たな視点で課題の洗い出しや検討を行い、企業・団体のWLB推進につなげています。25年度は24人の学生が3企業の協力を得て従業員へのアンケート調査を実施し、分析の上、提案。その一部を紹介します。

（社福）恵愛園

2024年度認定企業

地域に寄り添い、高齢者や障がい者の豊かな生活を支えている同法人。2019年に開設した「オレンジ神戸」の職員を対象に調査しました。

提 案

- ○ 職員の離職を防ぐには、上司や先輩のこまやかな声かけによる関わりが重要
- ○ 「上司の配慮や声かけがどのくらい職員に届いているか」を意識したアンケートの導入により、評価対象に上司行動を入れる
- ○ 入職前後のリアリティーショックを低減させるため、事前に理想だけでなく大変さも共有する



三ツ星ベルト㈱

2009年度表彰企業

伝動・搬送技術で世界産業を支える産業用ベルトを製造する同社。「WLB向上の提案」と「組織的公正とワークエンゲージメント」をテーマに分析しました。

提 案

- ○ 部署横断のプロジェクトや部署間交流をさらに活発に行うことで、業務調整や相互支援の促進効果が得られ、社内コミュニケーション活性化につながる
- ○ チャレンジできる社風が浸透しているため、新規提案や失敗報告にもポイントを付ける「チャレンジポイント（会社のために新たに挑戦した人に対しての評価）制度」を設けることでさらなるチャレンジ意欲の向上を図る



美樹工業㈱

2026年度認定企業

再エネ事業やSDGsにも注力する、姫路に本社を置く総合建設・設備を行う同社。インタビュー時に評価制度の改善を検討していることを聞き、評価制度の明確化に関する組織的公正やコミュニケーション、職場風土がWLBにどのような影響を与えるかを分析しました。

提 案

- ○ 評価プロセスを事前に説明した上で、個人評価の決定理由をフィードバックすることで納得感を高める
- ○ 評価者のばらつきによる不公平感をなくすため、評価レビューや人事部による再審査など異議申し立て制度を設ける



参加企業の声



できることから
取り組んでみたい



分析結果を
真摯に受け止めて
制度改正に生かしたい



現状の良さが明確になったので、
採用PRに活用できそう

ワーク・ライフ・バランスフェスタ2026

参加者募集中

多様な人材が活躍できるワーク･ライフ･バランス(WLB)の推進がいかに企業の採用力や生産性の向上に効果を発揮するのか。取組のヒントを得る機会とします。

11月27日(金) 13時～15時30分

場所 兵庫県公館大会議室　定員 先着150名

プログラム

･ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰式　･キーパーソン養成講座修了式

･**基調講演**　従業員のやる気と企業の採用力を高める人的資本経営
～WLBの推進で元気な組織づくり～

講師 服部 泰宏氏(神戸大学大学院経営学研究科教授)

･**パネルディスカッション**　WLBの取組が採用にもたらす効果と今後の展望
～若手社員の目線、企業の目線～

参加企業 ㈱阪技、ハートスフードクリエーツ㈱、上林建設㈱（いずれもWLB表彰企業）



詳細・申し込みはこちら

ワーク・ライフ・バランス地域シンポジウム

姫路地域

人材獲得や雇用定着につながる「働きかた改革」のヒント
－経営課題解決に向けたコクヨの具体的取組みとその効果－

10月14日(水) 10時～11時30分

場所 姫路商工会議所新館2階 201研修室

定員 70名+ウェブ定員なし

講師 新居 臨氏
(コクヨ㈱ヒューマン&カルチャー本部
働き方改革推進総務部統括部長)



多くの企業で効率化が進む一方、若手人材が「ここで働きたい！」と感じる企業独自の働く環境や挑戦は減りつつあります。働く環境投資や働く仕掛けづくりを通じて企業理念や経営戦略の社員理解浸透を加速する、コクヨの考え方や取組施策事例を具体的に共有し、その効果について解説します。

詳細はこちら

阪神地域

人材の定着する企業の条件
～人がやめない組織のあり方～

参加者募集中

11月5日(木) 14時～16時

場所 尼崎商工会議所701会議室

定員 100名

講師 山下 紗矢佳氏
(武庫川女子大学経営学部経営学科准教授)

事例発表 ㈱エムアンドエー、丸一興業㈱



企業経営者にとって今や人材確保が最大の課題である一方、従業員はWLBの制度が整った働きやすく働きがいのある職場を求めています。人材の定着に力を注いでいる地元企業とのトークセッションを行うことで、人が辞めない組織をつくるにはどんなことが必要なのか、参加者の皆さんと共に考えます。

詳細・申し込みはこちら

ICT・DXを活用した「ワーク・ライフ・バランス」の推進を専門家がサポートします

当センターでは、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現に向けてICT・DXの推進を図る県内企業・団体に対して、DXアドバイザーによる伴走支援などで取組を後押ししています。気軽にご相談ください。



事業内容

●DXアドバイザーによる企業訪問アドバイス・伴走支援

WLB推進とICT・DX推進の状況をヒアリングし、
目指すWLB推進体制に向けたアドバイス、計画策定サポートと伴走支援を行います。

【サポートテーマ例】

- 働き方改革
- 業務効率化・生産性向上
- 人材の確保・定着
- 健康経営の推進
- 従業員エンゲージメント向上
- 人的資本経営の推進
- WLB推進目的のAI活用
- 情報共有・セキュリティの確保
- 事業継続計画（BCP）

●WLB推進のためのICT・DX推進セミナーの開催

中小企業の実践事例を中心に、WLB推進に向けた
ICT・DX推進（AI活用を含む）の実践ポイントを分かりやすく伝えます。

第1回「DX・AI活用による生産性向上実践セミナー」

日時　10月19日（月）14時～16時　　場所　兵庫県中央労働センター 201号室

内容　・働き方改革を成果につなげる業務改善と生産性向上の実践ポイント
・生成AI時代に対応するDX・AI活用による業務改革実践講座

第2回 2027年1月以降開催予定

●助成金の情報提供・活用サポート

「多様な働き方推進支援助成金（テレワーク導入型）」など、
多様で柔軟な働き方を促進するための助成金に関する情報を提供し、その活用をサポートします。

ご相談は、ひょうご仕事と生活センターICTアドバイザーまで
ご連絡ください。

詳細はこちら

兵庫型奨学金返済支援制度

県では、若手従業員の奨学金返済負担軽減制度を設ける県内中小企業に対し、負担額の一部を支援しています。

○ 対 象 企 業

県内に本社がある中小企業等で、従業員に対し奨学金返済負担軽減制度を設けている。

○ 対象従業員

県内事業所に勤務する40歳未満の正社員で、日本学生支援機構の奨学金を返済している。

○ 補　助　額

年間返済額の3分の2（上限12万円）

県と企業の負担イメージ

年間返済額18万円	
6万円 （企業の実質負担額）	12万円 （県負担：企業補助6万円+ 従業員補助6万円）

詳細はこちら

○ 補 助 期 間

対象者1人につき最大17年間

最大補助期間	従業員への補助総額	対象企業
5年	90万円 （うち県60万円）	県内に本社がある中小企業等
10年	180万円 （うち県120万円）	・SDGs宣言企業 ・フレッシュミモザ企業 ・ワーク・ライフ・バランス宣言企業 いずれか2つが該当
17年	306万円 （うち県204万円）	・SDGs認証企業 ・ミモザ企業 ・ワーク・ライフ・バランス認定企業または ワーク・ライフ・バランス表彰企業 いずれか2つが該当

問い合わせ先：（一財）兵庫県雇用開発協会
TEL 078-362-6583

ぜひ活用を！
WLB研修

センターでは、企業の課題に応じて多様な分野の外部専門家による研修を企画実施しています（無料）。

たとえばこんな企業におすすめ

「厳しく指導するとハラスメントと思われるのでは」という不安から、管理職が必要な指導をためらっている。

若手社員が安心して相談したり意見を言ったりできる職場にしていきたい。

心理的安全性とマネジメント ―安心して話せる職場と、適切な指導を両立するために―

講師　喜田 菜穂子氏



単なるハラスメント防止研修ではなく、安心できる関係をつくりながら必要なことをきちんと伝えられる管理職を目指すためのマネジメント研修です。

研修のポイント

- 心理的安全性とは、疑問や提案、報告などを安心して言える職場の状態であることを理解する。
- 部下との信頼関係をつくるための傾聴、質問、承認、伝え方など日常のコミュニケーションを学ぶ。
- 「怒る」と「叱る」を区別し、人格ではなく行動や事実に向き合い、改善につなげる指導方法を実践的に考える。
- 相手を尊重しつつ、必要なことについては毅然と伝え、本人が次の行動を考えられる関わり方を学ぶ。

センターの主な事業

ワンストップ相談／コーディネーター、コンサルタントの派遣／外部専門家による研修・実践支援／テレワークICT相談／自己診断システム／中小企業従業員意識調査／企業向け助成金

公益財団法人兵庫県勤労福祉協会
ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011
神戸市中央区下山手通6-3-28
兵庫県中央労働センター1階
TEL　078-381-5277
FAX　078-381-5288
E-mail　info@hyogo-wlb.jp
開館　月～金曜 9:00～17:00
（祝休日、年末・年始を除く）

阪神事務所
〒660-0881
尼崎市昭和通2-6-68
尼崎市中小企業センタービル6階

姫路事務所
〒670-0947
姫路市北条1-98
兵庫県立姫路労働会館1階

シンボルキャラクター
はぐペン

https://www.hyogo-wlb.jp/

2026年10月発行